

日の出福祉会講演 2018/9/27

赤ちゃんの脳を知り、
あたたかいこころを育む

中村 肇

神戸大学名誉教授
兵庫県立こども病院名誉院長

本日の話

あたたかいところを育むために

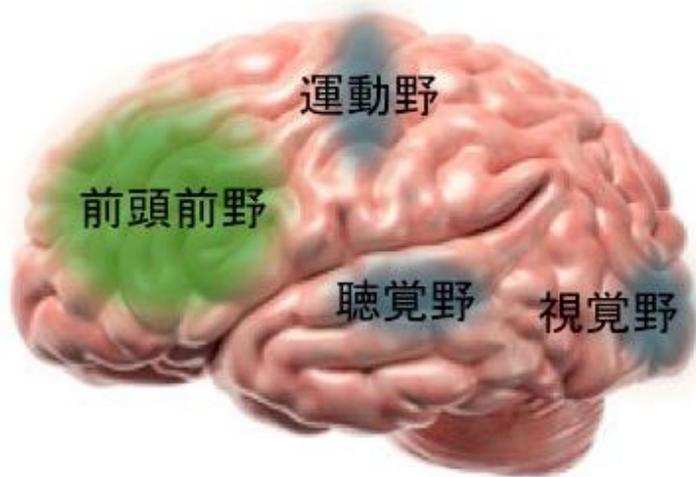
1. 発達期の脳のもつ不思議を理解しよう
2. あたたかいところとは
3. 男の子らしさ、女の子らしさと生物学的な性
4. 母親の育児不安と孤立感をなくそう

1. 発達期の脳のもつ不思議を理解しよう

- 魔の2歳児、Terrible two
- 七つ七里憎まれる
- 十代の暴走

人間の脳のしくみと進化

大脳皮質（新皮質）と大脳辺縁系（旧皮質）



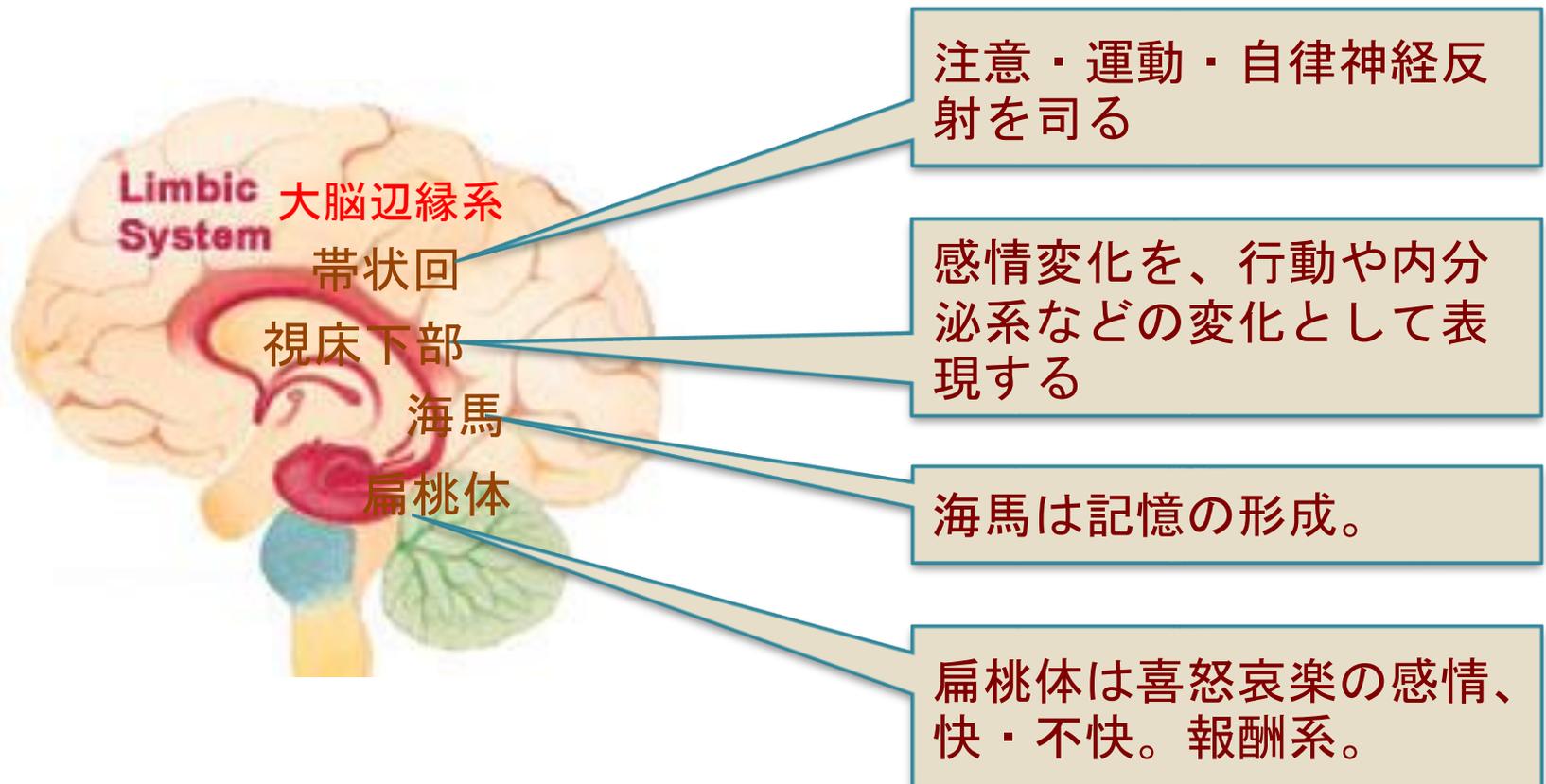
大脳皮質表面像



脳の正中断面像

大脳辺縁系の働き

生命維持や本能行動、情動行動に関与する。



大脳辺縁系と前頭前野

大脳辺縁系

前頭前野

感情系
=エンジン

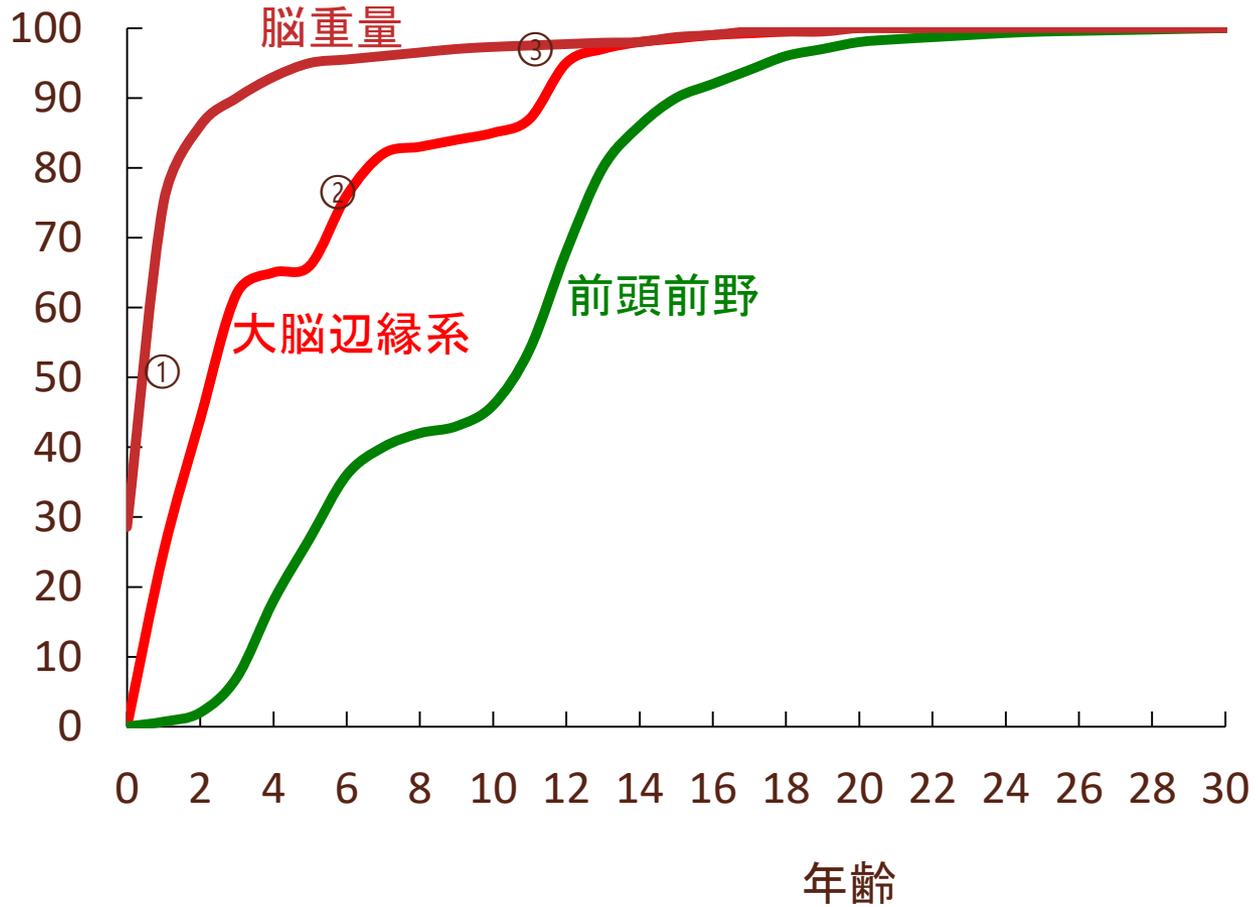
抑制系
=ブレーキ

感情・感性、記憶、
本能的行動に作用。
報酬系として働く。

行動の抑制に働く

人間の脳の発達パターン

成熟度



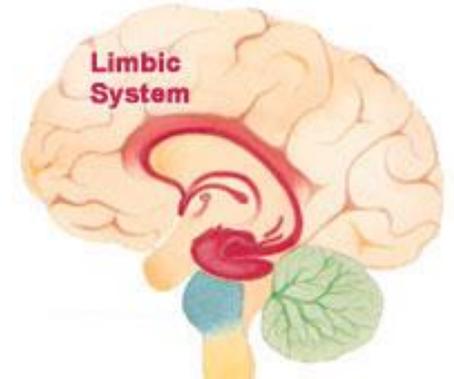
大脳辺縁系と前頭前野の発達のみずれ

- 魔の2歳児、Terrible two
- 七つ七里憎まれる
- 10代の暴走

思春期には性ホルモンの分泌が高まる

2. あたたかいこころを育むために

- 感性豊かな心は大脳辺縁系に宿る
- 子どもの五感が感性豊かな心を育む。
- 取り巻く環境（母親、家族、近所のお友だち・大人など）が大切。



2. あたたかいこころを育むために

認知能力と非認知能力

認知能力（計算や文字、知識、思考する能力）は後からでも教えられるが、非認知能力（感性豊かな心）は幼児期に伸びる。

非認知能力を伸ばすのが、幼児教育の原点
成功体験が自らの学習意欲を高める。

3 歳児神話

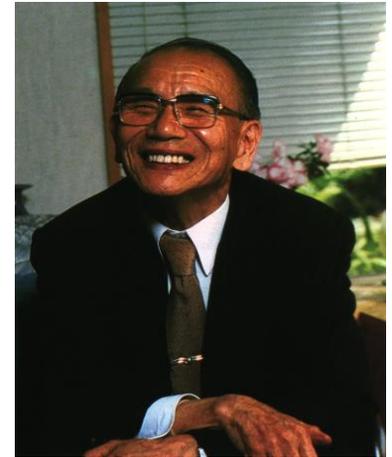
- 三つ子の魂百までも
- 三歳看老（中国語）
- What is learned in the cradle is carried to the grave.（英語圏）
- 非常に幼い時に学んだことは石に刻まれたようなものだ（アラビア語圏）

育児の基本は 'まなかい' に

生まれた直後の赤ちゃんでも、やさしい気持ちで見つめてくれる人には視線を合わせます。これが、「まなかい(眼交い)」なのです。

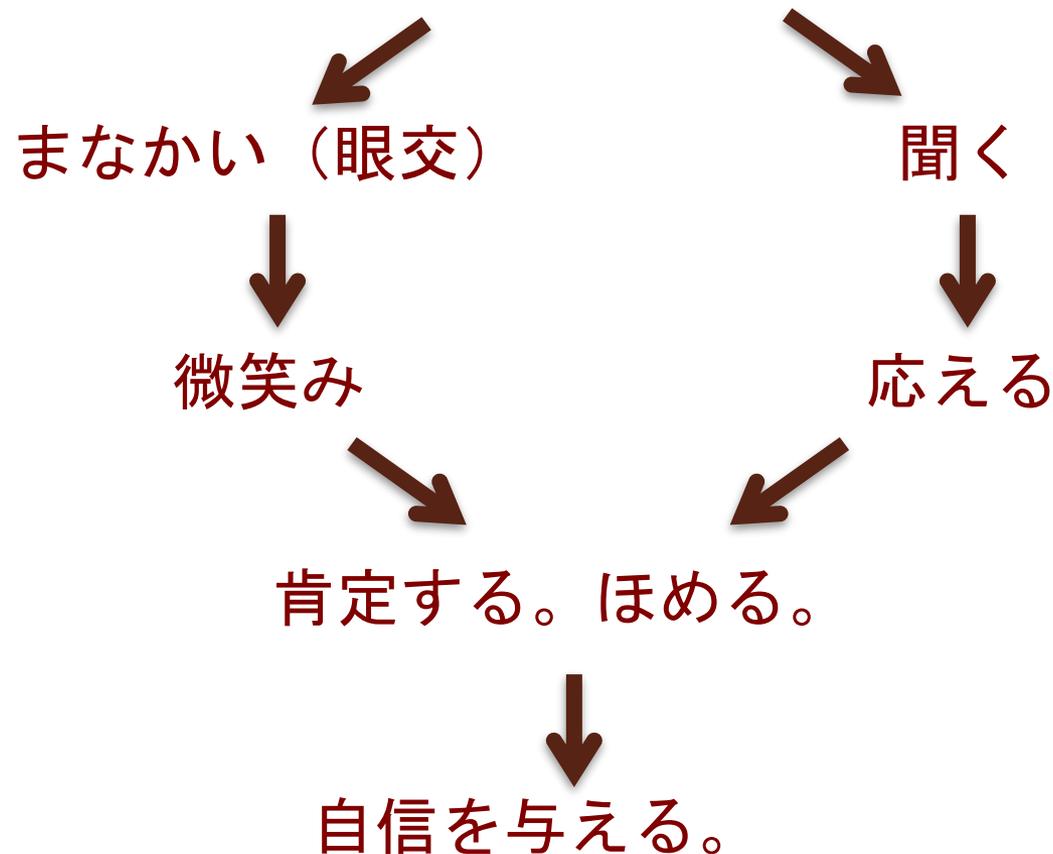
育児の基本は、赤ちゃんの目を見ることにあります。

内藤壽七郎著「育児の原理」より



感性豊かな心（非認知能力）を伸ばすには

子どもからの問いかけに、



あたたかい心を育む

感性豊かな心



あたたかい心を育み、



“心情を分かち合える” 大人に



3. 男の子らしさ、女の子らしさ

トランスジェンダー

性同一性障害(GID)とは医療的なケアが必要とされる場合の診断名であるが、特に医療的な治療までは必要としない人も含めて自分の性別に違和感を持っている人をトランスジェンダーと呼んでいる。

LGBT

- Lesbian（女性同性愛者）、
- Gay（男性同性愛者）、
- Bisexual（両性愛者）、
- Transgender（トランスジェンダー）

の頭文字をとったもので、セクシュアル・マイノリティー（性的少数者）の総称としてよく用いられている。

全国の20～59歳を対象にした調査によると、「LGBT層」に該当する人は7.6%

3. 男の子らしさ、女の子らしさ と生物学的な性

男児では、妊娠6週から24週にかけて、男性ホルモン（アンドロゲン）が胎児の精巣から大量に分泌される「アンドロジェン・シャワー」により、男性の外性器が形づくられ、脳は男性化し、男性的な行動をとらせる。

女兒でも、副腎皮質で男性ホルモンはつくられているが少量。

3. 男の子らしさ、女の子らしさ 男性の脳と女性の脳

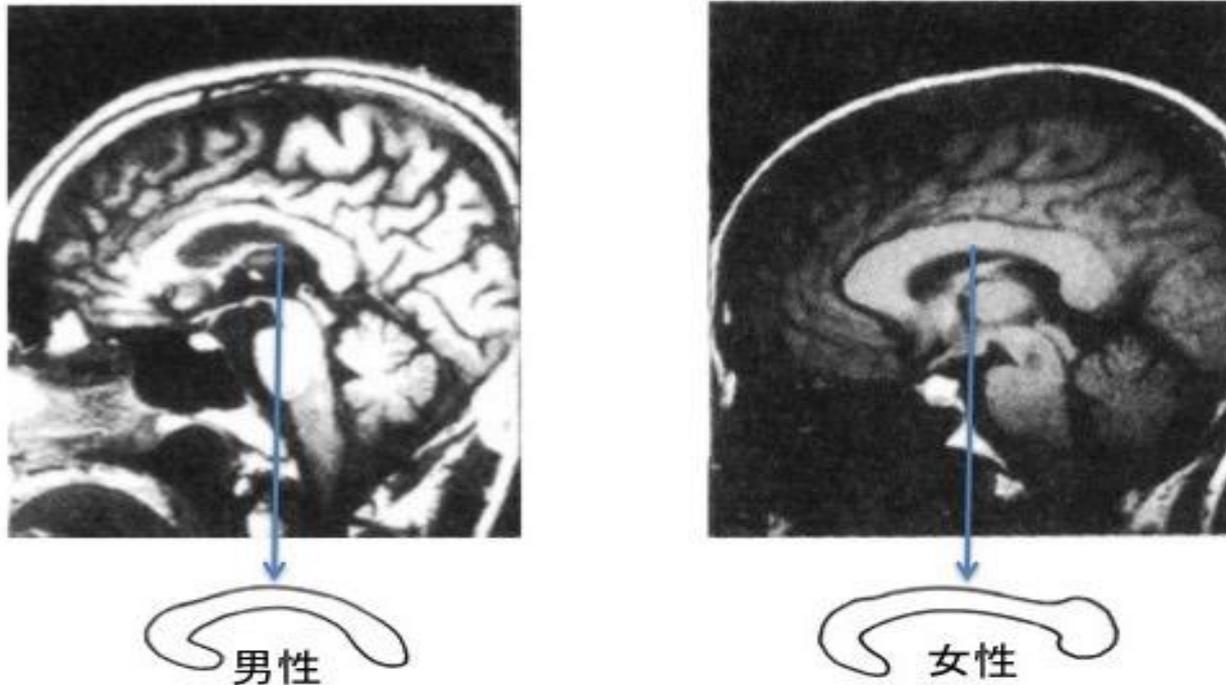


図 1. 女性の脳梁は男性の脳梁に比べて層が厚い。（共立出版、2001より）

男の子らしさ、女の子らしさ

男の子	女の子
乗り物や怪獣、恐竜、戦隊モノ	ぬいぐるみや人形、おままごとなど
動くもの、大きいもの、強いものに興味をもつ	やわらかいもの、丸いものなどを好む傾向にある
動き回って遊んだり、ミニカーを並べたり、空想遊びが好きで、マイペースでの行動が多い。	他の人の気持ちを察する能力が高く、自分のまわりのものの世話を焼く

男の子らしさ、女の子らしさ

行動パターン、「男らしさ」、「女らしさ」は、子どもの生物学的な性と一致していることが多いが、ときに一致しないこともある。

その理由として、これらの行動パターンは、生物学的な性よりも、男性ホルモンの影響を受けた脳の性差によるとの指摘もある。

行動には、男性と女性の上に連続性がある。

幼児期より、各人の特性をみて、生物学的な性だけで行動を決めつけない。

4. 母親の育児不安と孤立感をなくそう

1) 周産期メンタルヘルス・ケア

産後うつ、マタニティー・ブルー

への理解と対応

2) 社会構造の変化への対応

子どもの貧困への取り組み

産後うつ、マタニティ・ブルーとは

- 1) 妊娠出産に伴う急激なホルモン変化による
- 2) 妊娠中・産後のうつ病は10～15%にみられる
- 3) 妊産婦死亡の原因として、自殺が占める割合が高い
- 4) こどもの情緒的発達への影響
- 5) 父親のメンタルヘルスに影響

周産期メンタルヘルス・ケアを

産前産後のストレスを把握し、ケア

妊娠出産に伴う急激なホルモン変化

- オキシトシン 愛情ホルモン
- エストロジェン 女性ホルモン

オキシトシン

- 子宮収縮作用
- 授乳時に分泌される

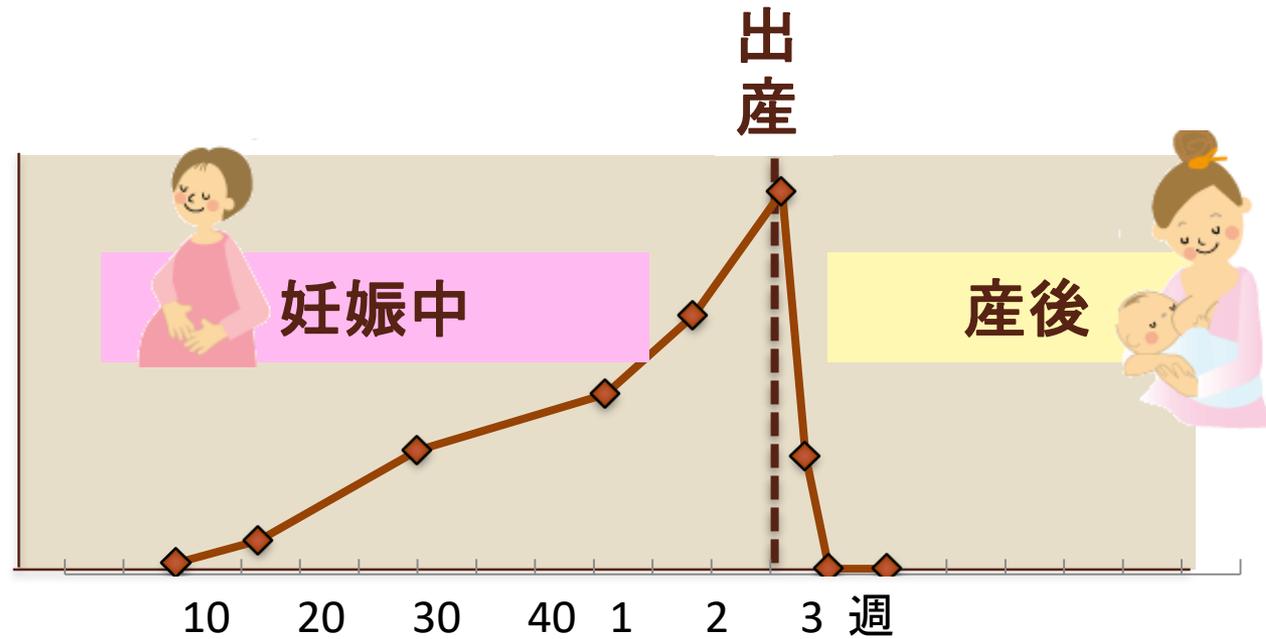


愛情ホルモン 気持ちに寄り添う。

母子関係の確立に。

一方で、攻撃性を高める。

エストロジェンの変化



急激なホルモンの変化が、情緒不安定、不安・孤独感の原因に。

妊娠中うつ病のリスク因子

- 1) 妊娠中の不安
- 2) ライフイベント
- 3) うつ病既往
- 4) ソーシャルサポート不足
- 5) 家庭内暴力
- 6) 望まない妊娠など

妊婦のストレスを把握し、ケアすることで、産科合併症や産後うつを予防。

母親の育児不安と孤立感をなくそう

2) 社会構造変化への対応

- ① 核家族化
- ② 地域コミュニティの崩壊
- ③ 働く女性の増加
- ④ 忙しすぎる母親

社会全体での取り組みを
こどもの貧困の解消を

若いお母さんが自信をもって育児ができるように



兵庫県地域子育てネットワークだよりの
コラムを2005年から今日まで13年間連載
中

神戸新聞総合出版センターより、
2017年11月刊行



ご静聴ありがとうございました